アンパンマンのマーチ

本調子

	工
	上
	工
	六
	五
	中
	五
	○
	八
	七
	六
	五
	工
	○
	○
	○

そう	六
だ	六
	工
	○
うれしいん	中#上
だい	中尺工
	中
きる	五
よろ	○六五
こび	工
	尺
	中
	上
	○

	中
	工
	上
	工
	四
	老四上老
	○
	四
	○四老
	○老乙
	○工尺
	○

たとえ	六
	六
	工
	○
むねのきず	中#上
	中尺工
	中
がい	五
たん	○六五
でも	尺
	工
	○
	○
	○

なんのため	合
	乙老四上
	工
	中
にう	上四上
まれて	○
	四
な	老乙老
にをして	合
いきるのか	乙乙乙老乙
	○

こたえられ	合
	乙老四上
	工
	中
ない	上四上
なんて	○
	四
そ	老乙老
んなの	合
はい	乙
やだ	○上合
	○

いまを	乙
	老乙
	乙
	乙
いきる	乙老乙
こと	乙
で	上
	乙
あつい	○
こころ	老四老
もえる	老四老
	老
	中
	老
	○

だから	上
	中上
	上
	上
きみは	上中上
	上
	工
いく	上
んだ	六
ほほ	五
ほえ	中
	尺
んで	○中上
	○
	○
	○

そう	六
だ	六
	工
	○
うれしいん	中#上
だい	中尺工
	中
きる	五
よろ	○六五
こび	工
	尺
	中
	上
	○

たとえ	六
	六
	工
	○
むねのきず	中#上
	中尺工
	中
がい	五
たん	○六五
でも	尺
	工
	○
	○
	○

あ	六
	○
	工
	○
あ	中中
あんぱんま	中中尺工
んや	中
さし	五
いきみは	○六五
	工
	尺
	中
	上
	○

い	六
	○
	工
	○
け	中中
みんなのゆめ	中中尺工
ま	中
もる	五
ため	○六五
	尺
	工
	○
	○
	合

アンパンマンのマーチ

本調子

	ときは	はやく	すぎる		ひかる	ほしは	きえる		だから	きみは	いくんだ		ほほえ	んで	そうだ	うれしいんだ	
四	老乙老	合	乙中四上合	○	老四老	老四老	老	中	老	○	上中上	上中上	上	工	上	六	五
	乙老乙	乙老乙	乙	上	乙												
	乙	上	乙	○	中	尺	○中上	○	○	○	六	六	工	○	中#上中尺工	中	五
	い	きる	よろこび		たとえ		どんなてきが										
五	○	六五	工	尺	中	上	○	六	六	工	○	中#上中尺工	中				
	あ	いて	でも		あ	あ	あんぱんまん										
五	○	六五	尺	工	○	○	○	六	○	工	○	中中中尺工	中				
	や	さしい	きみは		い	け	みんなのゆめ										
五	○	六五	工	尺	中	上	○	六	○	工	○	中中中尺工	中				
	ま	もる	ため														
五	○	六五	尺	工	○	○	○	○	四	老	乙	○	○	尺			
工	○	○	○														

アンパンマンのマーチ

本調子

一、そうだ　うれしいんだ
いきる　よろこび
たとえ　むねのきずが
いたんでも

二、なんのために　うまれて
なにをして　いきるのか
こたえられないなんて
そんなのは　いやだ

いまをいきることで
あついこころ　もえる
だから　きみはいくんだ
ほほえんで

そうだ　うれしいんだ
いきるよろこび
たとえ　むねのきずが
いたんでも

ああ　あんぱんまん
やさしいきみは
いけ　みんなのゆめ
まもるため

三、なにが　きみのしあわせ
なにをして　よろこぶ
わからないまま　おわる
そんなのは　いやだ

わすれないで　ゆめを
こぼさないで　なみだ
だから　きみはとぶんだ
どこまでも

そうだ　おそれないで
みんなのために
あいと　ゆうきだけが
ともだちさ

ああ　あんぱんまん
やさしいきみは
いけ　みんなのゆめ
まもるため

四、ときは　はやくすぎる
ひかる　ほしはきえる
だからきみは　いくんだ
ほほえんで

そうだ　うれしいんだ
いきるよろこび
たとえ　むねのきずが
いたんでも

ああ　あんぱんまん
やさしいきみは
いけ　みんなのゆめ
まもるため